

意味と性 (genre) (4)

— 船, 舟と飛行機の性 —

舟 杉 真 一

〈Résumé〉

Nous analysons la relation du sens et du genre des noms qui représentent les bateaux et les avions.

77.9 % des noms représentant les bateaux ont tendance à être masculins, mais parmi tous ces mots, les mots qui représentent les yachts sont 100 % masculins, qui représentent les galères sont 100 % féminins, et les mots qui représentent les bateaux à fond plat sont 84.2 % féminin.

Quant aux mots qui représentent les avions, 95.2% de ces mots sont masculins.

Sur les mots qui ne suivent pas cette tendance, nous essayons de trouver la solution au point de vue de la terminaison et de l'origine.

0. はじめに

意味グループと文法上の性 (genre) との関係については, これまで, 舟杉 (1995.a.) では, 「チーズとワイン」について, 舟杉 (1996.b.) では「果実名と果樹名」, 舟杉 (1999.a.) では「単位と計器」について考察してきた。

今回は, 「船, 舟」と「飛行機」について取り上げ, 文法上の性との関係について分析を試みることとする。

1. 対 象

今回対象としたのは『petit Robert 1 (1979, 1989)』, 『小学館ロベール仏和辞典 (1988)』において見出し語となっている船, 飛行機を表す語である。

2. 船, 舟

太古の昔より漁や移動手段として舟は使われてきた。いわば一番歴史の古い乗り物と言えるであろう。

固有名詞の場合には, 「1935年に Académie と海軍省により固有名の性に従うと決定されたが,

bateau, paquebot, cuirasséなどを想起して、男性名詞として用いる傾向も顕著であり、隠喩による小船の名は普通名詞に従う」と朝倉(2002)には記載されている¹⁾。では、普通名詞の場合には何らかの性傾向が見られるのであろうか。

今回対象とした名詞の中で、船、舟を表す普通名詞は全部で340語、その内訳は男性名詞が265語、女性名詞が74語、男性・女性のどちらともなりうるものが1語で、男性名詞が全体の77.9%で、一応男性傾向があると言えそうである。

意味上特記できるのは、「ヨット」に分類される語11件すべて男性名詞、「ガレー船」に分類される語14件すべて女性名詞、「平底船」に分類される語19件で84.2%が女性名詞となっていることである。大きいか小さいか、すなわち、「船」であるか「舟」かの違いは見られなかった。

フランス語の場合、名詞・形容詞の語形成において、français / françaiseに代表されるように、男性形+eで女性形を作るのが主流であることを考慮すると、男性形が基盤、無標であり、基盤にeをつける女性形が有標であると容易に考えられる。本稿では、女性名詞の方が男性名詞に比べ、より有標であり特徴的であるとの立場に立ち、女性名詞となっている要因を中心に取り上げることにする。

2.1. 女性名詞となっている語

女性名詞となっている船、舟を表す語は、74語である。その要因について分類してみる。分類にあたっては、容易に我々が「性」を想定することのできる「意味」、「語形態」、「合成語」、そして想定がしにくい「語源」の順で行った。

2.1.1. 意味

容易に「性」を想定しやすいと考えられる「意味」についてまず取り上げる。[]で記したのは、「意味」以外で「性」決定に関与していると考えられる要因である。

2.1.1.1. 女性名

女性名に由来するのは次の2語である。

marie-salope (泥運搬用艇) [< Marie]

Méduse (メデューズ号) [< ギリシア神話の女性]

2.1.1.2. ガレー船

「ガレー船」の総称・代表である galère を含め14語がすべて女性名詞となっている。

birème (二段こぎ座のガレー船) [< ラテン語女性名詞 biremis]

capitane (ガレー船隊の指揮艦) [< 女性名詞 galère の省略]

fuste (中世末の小型ガレー船) [< イタリア語女性名詞 fusta]

galéasse, galéace (16, 17世紀にベネチアで造られた大型ガレー船) [< イタリア語女性名詞 galeazza]

galée (地中海で用いられたガレー船) [< ビザンティン・ギリシア語女性名詞 galéa : 語形態 -ée 94.4%女性²⁾]

galère (ガレー船) [< カタルーニャ語女性名詞 : 語形態 -ère 83.8%女性]

galiote (小型快速のガレー船) [＜古フランス語女性名詞]
 patronne (ガレー船隊の提督船) [＜女性名詞 galère の省略]
 quadrirème (漕手座が4層のガレー船) [＜ラテン語女性名詞 quadriremis]
 quinquérème (漕手座が5層のガレー船) [＜ラテン語女性名詞 quinquereimis]
 réale (指揮官の乗るガレー船) [＜女性名詞 galère の省略]
 trière (古代ギリシアで使用された漕手が上下三段に並んだガレー船) [＜ラテン語女性名詞
 trieres <ギリシア語：語形態 -ère83.8%女性]
 trirème (漕手が上下3段に並んだガレー船) [＜ラテン語女性名詞 triremis]
 -rème に終わる birème, quadrirème, quinquérème, trirème は、ラテン語起源の語であるが、
 この -rème は、「櫂」の意のラテン語男性名詞 remus から来ている。にもかかわらず、女性名詞
 となっているのは、「ガレー船」の総称・代表である galère が女性名詞であることに連想照応し
 ていると考えられる。

2.1.1.3. 平底船

「平底船」を意味する語は19件中16語、すなわち84.2%が女性名詞となっている。

barcasse (モロッコの平底船) [＜イタリア語女性名詞 barcaccia, 語形態 -asse 77.5%女性]
 barge, berge (横帆を持つ平底船) [＜ラテン語女性名詞 barica]
 bélandre (河川, 運河, 港湾用平底船)
 bette (地中海で用いられる両端がとがった小型平底船) [語形態 -ette 95.3%女性, 他に同形女
 性名詞 bette (フダンソウ) がある]
 damelopre (オランダの内陸航行用大型平底船)
 flette (竿で操る河川航行用の平底艇) [語形態 -ette 95.3%女性]
 gabare, gabarre (河川, 河口などで商品を運ぶ平底船) [＜古プロヴァンス語女性名詞
 gabarra]
 mahonne (トルコの平底船) [語形態 -onne 93.3%女性]
 péniche (砂, 建築材などを河川運送する平底船) [＜フランス語女性名詞 pinasse <スペイン
 語女性名詞 pinaza]
 pinace, pinasse³⁾ (フランス南西部沿岸の平底漁船) [＜スペイン語女性名詞 pinaza, 語形態
 -asse 77.5%女性]
 prame (バルト海周辺で用いられる平底船)
 sapine, sapinette (モミ製の平底川舟) [語形態 -ine 95.1%女性, 語形態 -ette 95.5%女性]
 例外的に男性名詞となっているのは次の3語である。
 coche (昔, 馬に引かせて客を運んだ川舟, 平底船)
 sampan, sampang (中国・東南アジアで用いられる掛け屋根付きの木造小型平底船) [語形態
 -an 97.1%男性, 語形態 -g 96.1%男性]

2.1.2. 語形態

2.1.2.1. 100%女性語尾

①語形態 -ache

patache (郵船, 税関船, 沿岸警備船) [<スペイン語女性名詞 *pataje*]

②語形態 -euse

dérocheuse (砕岩船)

2.1.2.2. 99.8%女性語尾

①語形態 -ation

embarcation (小舟) [<スペイン語女性名詞 *embarcación*]

②語形態 -ienne

norvégienne (舳先が丸く上向きになった小舟)

2.1.2.3. 98%女性語尾

①語形態 -ière

baleinière (捕鯨艇)

canonnière (砲艦, 19世紀初頭までの戦闘用内火艇) [後者の意に関しては, 女性名詞

chaloupe (小艇) の省略]

sardinière (イワシ漁船)

②語形態 -ère

coraillère (珊瑚漁船) {☆同義の男性名詞 *corailleur*}

2.1.2.4. 95.3%女性語尾

語形態 -ette

corvette (対潜装備をもった高速警備の護送艦, 19世紀末頃までの3本マストの軍艦)

goélette (二本マストの帆船)

2.1.2.5. 95.1%女性語尾

語形態 -ine

bisquine (かつてイギリス海峡で用いられた漁船)

brigantine (帆船)

2.1.2.6. 94.2%女性語尾

語形態 -aille

traille (ケーブルによる渡し船) [<ラテン語女性名詞 *tragula*]

2.1.2.7. 93.8%女性語尾

語形態 -tte

chatte (小型帆船) [同形女性名詞 *chatte* (雌猫)]

2.1.2.8. 93%女性語尾

語形態 -elle

caravelle (13~16世紀のポルトガルなどでみられたラテン帆を持つ角船尾の小型帆船, 初心者用練習に用いられる帆船) [＜ポルトガル語女性名詞 *caravela*]

navicelle (イタリア, 特にトスカーナ沿岸で用いられる2本マストの帆船) [＜イタリア語女性名詞 *navicella*]

2.1.2.9. 92.5%女性語尾

語形態 -otte

péotte (昔アドリア海で使用された大型ゴンドラ) [＜イタリア語女性名詞 *peota*]

2.1.2.10. 91.9%女性語尾

語形態 -olle

voiroлле (ノルマンディー沿岸の甲板のない小さな漁船)

2.1.2.11. 87.5%女性語尾

語形態 -ève

sacolève (3本マストで反り返った船尾を持つ小型帆船) [☆同意異性 *sacoléva*]

2.1.2.12. 73.4%女性語尾

語形態 -ole

yole (鎧張りの無甲板ボート, 競漕用ボート)

2.1.2.13. 基本語⁴⁾で88.4%女性語尾

語形態 -che

-cheに終わる語は, 68,672語を対象とした場合の女性傾向は67.8%であるが, 基本語を対象にした場合には88.4%の強い女性傾向が見られる。この影響で女性名詞となっていると考えられるのが以下の語である。

quaiche (前のマストが後ろより大きい2本マストの小型帆船) [＜英語 *ketch* ☆英語の直接借用語 *ketch* は男性名詞としてフランス語に入っている]

2.1.3. 合成語

合成語とは, 「合成語要素」+「名詞」でできた語で, この場合はこの名詞の性をとることになる。

cosmonef (宇宙船) [*cosmo-* (宇宙の意) + 女性名詞 *nef* (船)]

2.1.4. 同形女性名詞からの類推

flûte (17, 18世紀の弾薬・食料補給船, オランダの商船) [同形女性名詞 *flûte* (笛)]

2.1.5. 語源

arche (ノアの箱船) [＜ラテン語女性名詞 *arca*]

barque (小舟) [＜イタリア語女性名詞 *barca*]

cange (ナイル川で旅客を運んだ小帆船) [＜アラビア語女性名詞 *qanja*]

caraque (中世から17世紀末まで, 地中海や, ポルトガルの東インド貿易に用いられた大型商船) [＜イタリア語女性名詞 *caracca*]

- chaloupe (小艇) [＜中期フランス語女性名詞 *chaloppe*]
 dahabieh (かつてナイル川を航行した屋形船) [＜エジプト・アラビア語女性名詞 *dahabiya*]
 felouque (地中海の大三角帆をもつ小型帆船) [＜スペイン語女性名詞 *faluca*]
 frégate (フリゲート艦) [＜プロヴァンス語女性名詞 *fregata* ＜イタリア語女性名詞 *fragata*]
 gondole (ゴンドラ) [＜イタリア語女性名詞 *gondola*]
 hourque (昔オランダで使われた肋板が平たく横腹の膨れた3本マストの貨物帆船) [＜中世オランダ語女性名詞 *hulke*]
 jangada (ブラジルのレシフェ地方で漁師が用いる三角帆の筏) [＜ポルトガル語女性名詞 *jangada*]
 marina (集合的に船舶) [＜ラテン語形容詞女性形 *marina*]
 nave (13世紀に、十字軍遠征などのため地中海を航行した大型帆船) [＜イタリア語女性名詞 *nave*]
 nef (中世に大西洋で用いられた大帆船) [＜ラテン語女性名詞 *navis*]
 pirogue (アフリカやオセアニアで用いられる丸木舟) [＜スペイン語女性名詞 *piragua*]
 polacre (かつて地中海で用いられた帆船) [＜イタリア語女性名 *polacra*]
 tartane (地中海の小型帆船) [＜イタリア語女性名 *tartana*]

2.1.6. 女性名詞となっている要因が不明なもの

これまでの要因には属さず、なぜ女性名詞となっているのかが不明であるのが以下の2語である。

- jonque (中国などの伝統的な木造帆船) [＜ポルトガル語男性名詞 *junco*]
 pinque (19世紀まで地中海で用いられた3本マストで狭い船尾を持つ帆船) [＜オランダ語 *pink*]

-que に終わる語は、68,672語の名詞を対象とした場合、男性名詞となる語が515語、女性名詞となる語が572語、男女の揺れがあるものが4語、人を表しその自然性により男性・女性が決まる語が251語の合計1342語で、特定の性傾向があるとは言えない。

船、舟を表す語で -que に終わる語は、男性名詞4語、女性名詞6語の計10語である。

男性名詞4語

caïque (カイク、小帆船), *monocoque* (モノコック船), *multicoque* (他胴船), *transatlantique* (大西洋定期船)

因みに *mono-* で始まる語は、男性79語、女性38語、名14語の計131語で、男性傾向は60.3%、*multi-* で始まる語は、男性28語、女性18語、名6語の計52語で、男性傾向は53.8%で、いずれも特定の性との結びつきは考えられない。

女性名詞6語

2.1.5. ですでに取り上げた *barque*, *caraque*, *feloque*, *hourque* で語源の影響で女性名詞となっていると考えられるものと、今回の要因が不明の *jonque*, *pinque* である。

jonque がフランス語に初めて現れるのは、1521 年、junc という形である。この時にすでにフランス語に入っていた *barque* (XIV 世紀にイタリア語から借用)、*caraque* (XIII 世紀にイタリア語から借用)、*hourque* (1326 年初出、中世オランダ語から借用) などが、同じく *-que* という語尾形態で女性名詞であったために、*jonque* も女性名詞となったのではないだろうか。

一方 *pinque* については、*pinquet* の形で、1634 年オランダ語 *pink* からの借用でフランス語に入り、現在の形での初出は 1688 年である。この語も、*jonque* 同様の理由により、女性名詞となっていると考えられる。

3. 飛行機

飛行機が歴史に登場するのは、1903 年 12 月 17 日、米国のライト兄弟がライトフライヤー号で有人飛行を行ってから、すなわち 20 世紀になってからである。

飛行機を表す語は 83 語で、その内訳は男性名詞が 79 語、女性名詞が 4 語で、男性名詞が全体の 95.2% で、男性傾向があると言える。

例外的に女性となっているものについてみていくことにする。例外的に女性名詞となっているのは次の 4 語である。

avionnette (メキシコ、南米の軽飛行機) [avion の指小辞]

caravelle (胴体後部にエンジンを置いたフランス製中距離ジェット機) [先に取り上げた小型帆船の意もある。<ポルトガル語女性名詞 *caravela*]

stratoforteresse (米国の全天候、大陸間、戦略重爆撃機) [女性名詞 *forteresse* (要塞) : <英語 *stratoforteres*]

superforteresse (米国の重爆撃機) [女性名詞 *forteresse* (要塞) : <英語 *superforteres*]

語形態 *-esse* 96.7% 女性、語形態 *-ette* 95.3% 女性、語形態 *-elle* 93% 女性と、いずれも強い女性傾向を示す語尾である。

ちなみに、固有名詞としては、今回の対象語に含まれる *boeing*, *Bréguet*, *concorde*, *Douglas*, 対象語には含まれていないが、*DC9*, *Lockheed*, *747* など、すべて男性名詞となっている。

4. ま と め

今回は、「意味と性」の 4 回目として、「船、舟」と「飛行機」の性について分析を試みた。

「船、舟」については 77.9% の男性傾向であったが、特に「ヨット」に分類できる語は 100% 男性名詞、「ガレー船」に分類できる語は 100% 女性、「平底船」に分類できる語は 84.2% の強い女性傾向が見られた。

「飛行機」については 95.2% の強い男性傾向がみられた。

例外的に女性名詞となっている場合には、語形態の影響、語源の影響などがその理由として考えられるが、この女性名詞となる要因が多く重なれば重なるほど女性となる確率が高くなると言える。たとえば、trière (三段櫂船) は、「語源」+「語形態」+「意味：ガレー」の3要因が絡んだ女性名詞である。

しかしながら、なぜ女性名詞となっているのかについて、その要因を明確に示せないものも2語あった。jonque (中国などの伝統的な木造帆船) は、語源としてポルトガル語男性名詞 junco が考えられるにもかかわらず女性名詞となっている。pinque (19世紀まで地中海で用いられた3本マストで狭い船尾を持つ帆船) もオランダ語 pink に由来するものであり、外来語の場合よほど強い女性要因がある場合を除き男性になるはずであるが、女性名詞となっている。

今後は、基本語との関係、形容詞語尾との関係を視野に入れ、考察していくことにする。

[注]

- 1) 朝倉季雄著、木下光一校閲、新フランス文法事典、白水社 2002.8.10 p. 238
- 2) 本稿での語形態の%は、petit Robert 1. (1979, 1989), 『小学館ロベール仏和辞典 (1988)』, DICTIONNAIRE HACHETTE BENJAMIN DE POCHE 5-8 ans (2007), LE ROBERT BENJAMIN 6 / 8 ans (2011) において見出し語となっているすべての名詞、(ただし次のものは除く。①アルファベットの字母 ②大文字のみで構成された略語 例：CELT, C.H.U. etc. ③ 数字で終わる語 例：V1, V2。また同一語であっても、正書法が異なる場合には、上記の辞書が見出し語としている範囲で独立語として扱った。), 最近の辞書 (白水社 Le Dico 第2版), COMITÉ DE FÉMINISATION, CNRS (Centre National de la Recherche Scientifique) — INaLF (Institut National de la Langue Française) 1999 Femme, j'écris ton nom... Paris, La Documentation française, 雑誌 (L'EXPRESS, PARIS MATCH, etc.) から上記3辞書において採用されていなかった語をつけ加えた 68,672 語の名詞を対象としたものである。内訳は、男性名詞 37,113 語で全体の 54.04%, 女性名詞 28,537 語 で全体の 41.56%, 「性」が曖昧で一定していない名詞 120 語で全体の 0.17%, 指示対象の自然性に応じて男性にも女性にもなる名詞、つまり男女同形である名詞 2,902 語で全体の 4.23% である。
- 3) pinasse には、同形異性異意の男性名詞「オウシュウアカマツ」の意もあるが、これはヴォージュ地方の地域語である。
- 4) ここでの基本語とは、これまで対象としてきた 68,672 語のうち、以下の条件に1つでも該当する名詞を今回の対象とした。
 - ① DICTIONNAIRE DU VOCABULAIRE ESSENTIEL, Les 5000 mots fondamentaux (LAROUSSE 1979) において見出し語となっているすべての名詞
 - ② ボルダス基本仏和辞典 (駿河台出版社 1979) において見出し語となっているすべての名詞
 - ③ DICTIONNAIRE DU FRANÇAIS LANGUE ÉTRANGÈRE NIVEAU 1, NIVEAU 2 (LAROUSSE 1978, 1991) において見出し語となっているすべての名詞
 - ④ DICTIONNAIRE HACHETTE BENJAMIN DE POCHE 5-8 ans (HACHETTE 2007) において見出し語となっているすべての名詞
 - ⑤ LE ROBERT BENJAMIN 6/8 ans (LE ROBERT 2009) において見出し語となっているすべての名詞
 - ⑥ 新スタンダード仏和辞典 (大修館書店 1987) において、書きことばで頻度の高い語、話

しことばで頻度の高い語として星印のついている名詞

- ⑦ ロワイヤル仏和中辞典 (旺文社 1985) において、重要語、最重要語として星印のついている名詞
- ⑧ 頻度順フランス語基本単語集 (芸林書房 1994) において見出し語となっているすべての名詞

上記の条件に該当する名詞は 7,735 語で、内訳は、男性名詞 4,028 語で全体の 52.07%, 女性名詞 3,510 語で全体の 45.38%, 「性」が曖昧で一定していない名詞 7 語で全体の 0.09%, 指示対象の自然性に応じて男性にも女性にもなる名詞、つまり男女同形である名詞 190 語で全体の 2.46% である。

[参考文献]

- 朝倉季雄著, 木下光一校閲, 『新フランス文法事典』白水社 2002.8.10
- DARDEL, R. 『RECHERCHES SUR LE GENRE ROMAN DES SUBSTANTIFS DE LA TROISIÈME DÉCLINAISON』DROZ 1965
- DAUZAT, A. 『LE GÉNIE DE LA LANGUE FRANÇAISE』PARIS LIBRAIRIE GUÉNÉGAUD 1977
- 舟杉真一「フランス語における外来語の性について」『L U T È C E』第 18 号 大阪市立大学フランス文学会 1987
- 「現代フランス語における名詞の「性」(genre) について」『研究論叢』X X X V 京都外国語大学 1990
- 「現代フランス語名詞の語尾発音と「性」(genre) について」『研究論叢』X L I 京都外国語大学 1993
- 「固有名詞と「性」(genre) (1) — 国名, 言語名と性 —」『研究論叢』X L II 京都外国語大学 1994
- 「自然性 (sexe) と文法性 (genre) (1) — 人名と性 —」『研究論叢』X L III 京都外国語大学 1994
- 「意味と性 (genre) (1) — チーズとワインの性 —」『研究論叢』X L IV 京都外国語大学 1995
- 「現代フランス語名詞の語尾形態と「性」(genre)」『研究論叢』X L V 京都外国語大学 1995
- 「現代フランス語における基本語の「性」(genre) について」『研究論叢』X L VI 京都外国語大学 1996
- 「意味と性 (genre) (2) — 「果実名」と「果樹名」の性 —」『研究論叢』X L VII 京都外国語大学 1996
- 「現代フランス語における同形異性異意語について」『研究論叢』X L VIII 京都外国語大学 1997
- 「固有名詞と「性」(genre) (2) — 河川と山の性 —」『研究論叢』X L IX 京都外国語大学 1997
- 「自然性 (sexe) と文法性 (genre) (2) — 鳥の性 —」『研究論叢』L 京都外国語大学 1998
- 「意味と性 (genre) (3) — 「単位」と「計器」の性 —」『研究論叢』L II 京都外国語大学 1999
- 濱崎長壽「文法上の性」『人文研究』第 17 卷 大阪市立大学文学部 1996
- 「文法上の性」諸問題」『人文研究』第 19 卷 大阪市立大学文学部 1968

—— 『ゲルマン語の話』 大学書林 1987

橋本政義 『ドイツ語名詞の性のはなし』 大学書林 2007

MOK, Q.I.M. 『CONTRIBUTION À L'ÉTUDE DES CATÉGORIES MORPHOLOGIQUES DU GENRE ET DU NOMBRE DANS LE FRANÇAIS PARLÉ ACTUEL』 MOUTON 1968

MORTUREUX, M.-F. 「L'Hyponymie et l'hyperonymie」 『LANGAGES』 98 Larousse 1990

POHL, J. 「Le gorille et l'ablette Approximations statistiques sur le genre des noms d'animaux」 『MELANGES DE LINGUISTIQUE FRANÇAISE ET DE PHILOGIE ET LITTÉRATURE MÈDIEVALES』 C. KLINCKSIECK 1973

POHL, J. 「LE GENRE ET LA 《SEXUALISATION》 DE L'INANIME」 『XVI CONGRESSO INTERNAZIONALE DI LINGUISTICA E FILOGIA ROMANZA』 GAETANO MACCHIAROLI 1973

RIGAULT, A. 「LES MARQUES DU GENRE」 『La grammaire du français parlé』 HACHETTE 1984

ROCHÉ, M. 「LE MASCULIN EST-IL PLUS PRODUCTIF QUE LE FÉMININ?」 『LANGUE FRANÇAISE』 96 Larousse 1992

WARTBURG, W. 『PROBLÈMES ET MÉTHODES DE LA LINGUISTIQUE』 PRESSES UNIVERSITAIRES DE FRANCE 1969

YAGUELLO, M. 『LE SEXE DES MOTS』 BELFOND 1989